

〈育てたい子供像〉  
きれいな心の子  
大きな夢もつ子  
笑顔いっぱいの子

# たかせの子



平成30年度 12月4日 (第8号)

## もっともっと「読書大好き！」な「たかせの子」に

校長 金三津 ひろみ

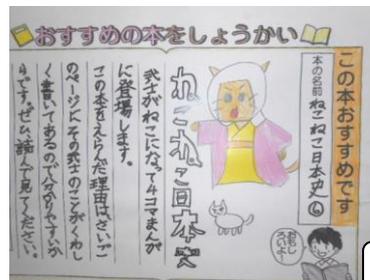
11月19日～30日は、本校の読書推進期間でした。

この期間中、「おすすめの本カード」を書いて掲示したり、家族読書に取り組んだり、読書に関わる様々な活動を行いました。

11月21日に行った「読書大好き集会」では、図書委員会の子供たちが、読書推進期間の取組を紹介した後、「ぶたぬきくん」の読み聞かせを行いました。



図書委員による読み聞かせ



掲示された「おすすめの本カード」



本校では、年間を通して、朝活動の読書タイムや学校司書の得能先生による読み聞かせタイムを設定しています。読書タイムでは、自分で選んだ好きな本を読みます。そして、読み聞かせでは、自分では選ばないようないろいろな本とも出会うことができます。

先日、2年1組の教室での読み聞かせを参観しました。

この日、読んでいただいたのは「なんかおばけ」という絵本でした。

「ぼくなんか・・・」「わたしなんか・・・」が口癖で、「はあー」とため息ばかりついている「ぼくやわたし」のところに出てくる「なんかおばけ」。

そこに「みよう神様」が現れて・・・。

「やってみよう」「がんばってみよう」という勇氣と元氣をもつことの大切さに気付かせてくれるお話でした。子供たちは、終始、真剣な表情で、そして嬉しそうにお話を聞いていました。その様子から、毎回の読み聞かせを心から楽しみにしていることがよく分かりました。読み聞かせの後、得能先生が、「みんなの中にも、『ぼく・わたしなんか・・・』って言ったことのある人いますか?」と尋ねました。数人の子供がはずかしそうに手を挙げるのを見て、得能先生は、「わあ、すごい。手を挙げた人、勇氣あるねえ」と声を掛けました。「みよう神様」の力で、早速、「はずかしいけれど、勇氣を出して手を挙げてみよう」と思えたのかもしれませんが。



みんな集中して聞いています

少し大げさかもしれませんが、読書の楽しさを知り、読書習慣を身に付けることは、生涯にわたる大きな楽しみ、豊かな財産を手にとることだとわたしは思います。今後も、子供たちが本に親しみ、読書が生活の一部となるよう取り組んでいきたいと思ひます。

もっともっと「読書大好き！」な「たかせの子」が増えますように。

## 「山口重松（しげまつ）文庫」を寄贈していただきました

田家小学校の卒業生で、平成 28 年に亡くなられた山口重松様のご遺族（黒部市前沢 中西清一様、黒部市山田 山口清数様）からの申し出により、このたび、本校図書室に「山口重松文庫」を寄贈していただきました。多額なご寄附であることから、今年度はまず、図書、書架、移動用ラック等を購入し、今後 20 年間、毎年、新しい図書を購入し、図書室に配置させていただくこととしました。

11 月 21 日の読書大好き集会の折に中西様・山口様にご来校いただき、子供たちへの「山口重松文庫」の紹介とお披露目を行いました。貸し出し開始を待ちかねていた子供たちは、早速翌日から、楽しく読ませていただいています。

中西様・山口様をはじめ、「山口重松文庫」の設置にご協力いただきました皆様にご心より感謝申し上げます。ありがとうございました。



代表で、図書委員長・副委員長が感謝の気持ちを伝えました。



図書室に設置した書架を見ていただきました。

## 大縄跳びの活動が始まりました

今年度も、縦割り活動の大縄跳びが始まりました。大縄跳びは、グラウンドが使用できない冬期間、全校リレーに代わって、朝の活動として体育館で行う活動です。毎週水曜日は 1・4・6 年生、木曜日は 2・3・5 年生が、異学年縦割りの 6 グループで活動します。約 15 分の時間中に、2 分間の「八の字跳び」に 2 回チャレンジし、2 回の合計を記録として蓄積していきます。

今年度の第 1 回は、11 月 14 日（1・4・6 年）と 15 日（2・3・5 年）でした。

低学年の子供たちの中には、上手く縄に入ることができない子供や跳ぶタイミングが合わず、縄にひっかかってしまう子供もいます。どのグループでも、高学年が低学年の子供たちに跳ぶタイミングを教えたり、そっと背中を押したりする素敵な姿がたくさん見られました。グループみんなで回数を数える元気な声と「おいしいよ！」「上手い」等のあったか言葉が体育館中に広がり、優しく、温かい気持ちになる朝でした。

活動の後には、リーダーの 5・6 年生が中心となって、活動の振り返りを行っています。「1 年生が『楽しかった』って言ってくれてよかった」と話す 6 年生の満足そうな表情から、この大縄跳びが、全校リレーと同様に、たかせ小学校のよい伝統をつないでいく大切な活動だと感じます。これから 3 月まで、記録を伸ばすだけでなく、子供同士の温かい関わり合いが一層広がっていくことを楽しみにしています。



背中を押してタイミングを教えます。



グループごとの振り返りタイム



大休憩には自主練習もしています。

## 火災対応避難訓練・煙体験

11月13日(火)、第2回避難訓練を行いました。今回は、暖房器具等を使用する時期になったことに合わせ、火災を想定した避難訓練でした。子供たちは訓練の目的をしっかりと理解して真剣に取り組み、緊急放送に従って安全に素早く避難することが

できました。避難場所に全員が集まった後、訓練に立ち会っていただいた黒部消防署員の方から、火事が起きてしまったときの対応や避難の際に注意すること等についてお話ししていただきました。

その後、訓練用の煙を充満させた家庭科室で、「煙体験」を行いました。子供たちは、煙が立ちこめている上の方は1m先も見えにくい状態になることを実感し、消防署員の方に教えていただいたように姿勢を低くして避難していました。知識として知ることと体験を通すことの両面から、正しい避難行動を身に付けてほしいと思います。

- 《火事になったら・・・》
- ① 「火事だ」と大声で人に知らせる
  - ② 消防署(119番)に通報する
  - ③ 初期消火をする
  - ④ 避難する

- 《黒部消防署の方の話》
- 火災は、全国で年間約4万件起きており、毎年1000人以上の方が亡くなっています。5割が逃げ遅れで、多くの方は煙を吸って意識を失ったことが原因です。
- 煙を吸わないためには、
- ① ハンカチ、タオルやビニル袋等を使って
  - ② 下の方にはきれいな空気が残っているの低い姿勢で 避難することが大切です。
- 避難訓練でしているように「おはしも」のルールを守って避難してください。

- 《子供たちの振り返りから》
- ・煙体験でハンカチをしっかりとおさえて通るのが大変でした。本当にあったら、ハンカチをしっかりとおさえて自分の命を守りたいです。(2年)
  - ・煙体験は煙がすごく多くて、本当の火事の煙は吸ったら倒れると聞いたので、本当の火事はとても危ないと思いました。(3年)
  - ・火事で亡くなる人の7割がお年寄りだと聞いたので、おばあちゃんとおじいちゃんに教えたいです。(4年)
  - ・消防士の方の話を聞いて、もし火事があったら、大きな声を出して呼びかけるなど、役立てたいと思いました。(5年)
  - ・学校では訓練をしているけれど、家でもいざというときのためにしておいた方がいいのかなと思いました。(6年)



ハンカチで口と鼻をふさぎ、姿勢を低くして避難します。

## 「黒部の大自然のめぐみを味わおう！」黒部地場産学校給食の日

11月29日(木)は、今年度の第4回黒部地場産学校給食の日でした。今回は、日頃より大変お世話になっている東布施・田家両地区の振興会・公民館、市議会、市教育委員会やたかせ小 PTA 等の代表の皆様、そして給食食材の生産農家の皆様に来校いただき、子供たちと一緒に会食していただきました。

この日の献立は、「豆わかご飯・大地のめぐみじる・れんこんのごまあえ・名水ポークのアップルソース焼き・牛乳」でした。名水ポークや大豆、れんこん、りんご等、黒部でとれた食材をたっぷり取り入れた給食を、食材生産や給食に関わる方々の苦勞に感謝して楽しくおいしくいただきました。



お客様と一緒に会食しました

## 「たかせ小ネットルールづくり」part2 「SNSの安全な利用に関する学習会」

11月27日(火)、「学校ネットルールづくりワークショップ」の第2弾として、4～6年の子供たちを対象とした「SNSの安全な利用に関する学習会」を行いました。

本校の4～6年生を対象に実施したアンケート結果によると、スマートフォンやゲーム機、パソコン、タブレット等でメールや通信をしたことのある割合は約65%、YouTubeやTikTok等の動画を見たことのある割合は約88%でした。見て楽しむだけでなく、これらの機器を使って写真や動画を撮った経験のある子供も大変多く、中には、投稿した経験のある子供もいることが分かりました。

学習会では、これらの結果を知らせた後、「インターネットを使うとき、大切なことは何ですか？」と子供たちに投げかけ、みんなで考える場を設定しました。子供たちは、自分ごととして真剣に考え、様々な意見を出し合っていました。

この学習会で、子供たちの意見を基に「守らなければならない大切なルール」として、確認したことは次の3つです。

- ① 人の悪口や嫌がることを絶対に書きこまない。動画で言わない。
- ② 友達や他人の個人情報(顔・名前・住所など)を勝手に投稿しない。  
→ 友達本人と友達の親の許可がいる。
- ③ 自分のことを投稿するときは、必ず家の人の許可をもらう。

正しい使い方を理解して「自己責任」で使用している大人と異なり、親の保護や監督の下で使用している子供は、その責任も自分では負うことができません。だからこそ、正しく安全な使い方を学習した上で、家の人との約束やきまりをしっかりと守らなければ使ってはいけないことを、学習の最後に伝えました。

ご家庭でも、この学習会で子供たちが学んだことや考えたこと等について話題にしていただけでもありがたいです。

### 《子供たちの振り返りから》

- ・わたしは一時期、TikTokにはまっていて、「アプリを入れて！」と親にたのんだことがありました。TikTokのことを真剣に考えたので、「心のアンテナ、心のブレーキ」をもって、インターネットを楽しもうと思いました。
- ・わたしは、家の人との約束がないので、今日、家に帰ったら、ルールをしっかりと決めたいと思います。また今週は、「守ろう我が家のルール」週間なので、しっかりとルールを守りたいと思います。
- ・人の嫌がることをしないことの大切さが改めて分かりました。家の人とは「動画は見るだけ、動画や写真は投稿しない」とルールを決めているので、しっかりと守ろうと思います。
- ・今日、ネットルールについて学習して、ネットでのやりとりやメール、動画などで人の悪口や嫌がらせ、個人情報などの投稿は絶対にしないようにしたいと思いました。インターネットや動画を見るときは、家の人に必ず確認しているけど、これからも心がけたいと思いました。

### 家庭学習をがんばっています！

本校では今年度も、家庭学習の一つとして、「パワーアップノート」を使った自主学習に取り組んでいます。

ノート3冊終了(十両)から名前を掲示している家庭学習番付に名前が挙がっている人数は、11月末で175名となりました。7冊終了者(横綱)も12名います。

子供たちが、番付も目当ての一つとして「パワーアップノート」に取り組むことで、家庭でも進んで学習する姿勢や習慣を身に付けることができるよう、今後も指導を続けていきます。ご家庭でも引き続き、励ましと見守りをお願いします。

